

「中東諸国を歴訪して」

昨年末、自民党国際局を代表して局長以下4名で、昨年の中安倍総理が歴訪した国々のその後をフォローアップする為、訪問して参りました。中継地点も含めて6カ国(ロシア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、トルコ、ヨルダン)を訪れることが出来ま

した。どの国にも共通して感じた事は、イスラム国を名乗る武装テロ集団)らによるテロへの恐怖と警戒です。特にトルコやヨルダンはシリアと隣接しており、非常に警戒心が高いと感じましたし、実際にイスラタンブルの空港では毎日テロ犯が逮捕されているとの事です。イスラタンブルには2つの空港があります。私達がトランジットした翌日にはもう一つの空港で爆発事件が発生し、職員の方が1名亡くなられました。またテロだけでなく、もう5年程前からシリア難民の問題に苦しんでいます。難民のため

のですが、ヨルダン、キルギスは特に目ぼしい資源がほとんど無く、都市部はかなり近代的な市街地ですが、外国からの債務でクビが回らない状況で、若年労働力を国内で生かす、外国へ出稼ぎに行ったり労働者の仕送りが経済の大きなウエイトを占めていたりして、自立的な経済運営が出来ず、国の将来が見通し難い状況にあります。そんな中、ウズベキスタンはかつてソ連時代に綿花生産と航空機産業という単一産業特化地域だったものを、経済の自立を目指して国内産業の多様化と自立化に取り組んでおり、1人当たりGDPは域内で最低レベルではあるものの、貧しくともゴミの無い綺麗な街で安定した経済運営を行なっています。そのような漸進主義を実現するために、民主化、自由化の程度は高くないものの、資源が豊かでないにもかかわらず、自立的な国力増進に慎重に取り組む姿には好感を持ちました。

また中東はイスラム教国地域でもありますが、驚いたことに、街中クリスマス一色でした。イスラム過激派のイメージや、私自身アメリカ在住時の中東の友人の経験から、教義に対する厳格さを想像していましたが、まさか敵対するキリスト教のお祭りに興じているとは想像していませんでした。またお酒やダンスパーティーなども皆楽しんでおり、想像を遥かに超えてイスラム教徒は寛容で世俗的なんだということを感じるこ

とが出来ました。もつと日本のマスコミもイスラム世界を正しく伝えなければ、イスラム教徒との接触の少ない日本人は、イスラム過激派等の極端な教条主義的イメージを持つたまま、様々な判断を誤りがちだと思えました。

それと、これら中東の国々は親日国だとも聞いていたのですが、親日の程度はお寒いもので、そもそもこれらの国々と今の日本はほとんど関わりが無く、ロシア、中国、トルコ、韓国等とビジネスで深く関わっており、日本は遠くにあつて敬する国であり、ほとんどの人は日本についてほとんど何も知らない状態です。「日本はどこか遠くの素敵な国」という程度なのです。世界に出て見なければ日本が世界からどう見られてるのかわかりません。世界から見たら日本は世界の端っこの国に見えます。端っこのあるけど結構頑張っている国、不思議な国といった感じでしょうか。日本は世界の端っこのにあるのにと内行で、日本人は世界に出て行っていないです。だからまず外国に行くと、日本人に思われることもあまりありません。今回の旅でも中国人が韓国人が台湾人かと思われましたが、一度も日本人かとは聞かれませんでした。日本人だと答えると、珍しいものを見るように驚かれます。これでは日本の成長はままなりません。日本人の行くところはとても限られていて、海外でも身近な観光地ばかりです。もつと広い世界にどんどん出て行く必要があります。

特に日本は国会議員がとも外国に出て行きにくい国で、国会対策委員会が国会対応で野党の機嫌を損ねない為、外国行きを開会中はほとんど認めてくれません。国会議員が世界を知らずに国の政策を議論している事の危険を感じますし、外国への日本アピールや人脈作りも出来ないのでは、日本は国際社会で孤立してしまします。先の大戦の最大の敗因もやはり国際社会からの孤立でした。国会日程で縛り付けて、大臣や総理までなかなか外国に行けない。グローバル化がますます進展する中で、時代錯誤も甚だしいのが日本の国会です。官僚もマスコミの方々もあまり外国に行けてないのでは無いでしょうか? コップの中の争いのような不毛な国会運営から脱却するためには、日本人の各層の方々が、もつと広く世界の実情を知る必要があると思えますし、それがこれからの一番の国益になると思

います。今回の訪問で、世界はまさに多様な歴史的事情や地勢環境によって多様な国のあり方、政治経済のあり方がある、それぞれの国によって政策の適性も大きく異なることが実感出来ました。紋切り型の十把一絡げなものの方で諸国と付き合ってはならない事がわかりました。世界を知り、その中で日本がどう生きていくべきか、それをしっかりと掴んで国の舵取りをしていける国会議員が増えなければならぬと強く感じた訪問でした。

新年祝賀互礼会のご案内 ●日時:平成28年1月20日(水)15:00～ ●場所:コンパルホール3階 多目的ホール

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員 穴見陽一 後援会事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010
<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

